



商品取り扱いの基本的な考え方は、組合員に対し「良品質の商品を提供すること」です。生協のPB（プライベートブランド）商品である「コープ商品」「産直商品」だけでなく、NB（ナショナルブランド）商品や市場手配の農産物についても仕様書や産地などを確認し、食品添加物使用基準にあった商品のみを取り扱っています。



■ コープ商品の意義・考え方

1. 安全であること
2. 安心できる品質であること
3. 適正価格であること
4. 生鮮商品は新鮮であること
5. 暮らしの見直しや暮らしの助け合い、地域づくりに寄与する商品であること

■ コープ商品

co-op 日生協開発商品

全国の生協が加盟する日本生活協同組合連合会で開発しているコープ商品。

Hearts co-op 県民せいきようオリジナル商品

県民せいきようが開発しているハーツオリジナル商品。

CCOP コープ北陸開発商品

北陸3県の生協が加盟するコープ北陸事業連合が開発しているコープ商品。

Coop's コープこうべ開発商品（コープス）

コープこうべが開発しているコープ商品。

■ 安全確認業務（商品検査）

組合員に安心して商品をご利用いただくために、コープの宅配の新規商品やハーツ店内加工商品を中心に微生物検査、産直農産品を中心とした残留農薬検査を実施し、取り扱い商品の安全確認を行っています。

項目	21年度実績	20年度実績	前年比
商品検査数	8,491件	7,806件	108.7%
工場点検数	91件	84件	108.3%

■ 2021年度検査数

	検査数	主な検査商品
微生物検査	年間 8,357品	・ハーツ店内加工の惣菜・畜産・水産商品 ・コープの宅配の新規取り扱い商品など
残留農薬検査等	年間 134品	・福井県産直協議会生産者の農作物など

■ HACCPに沿った取り組み

原材料から製品、食事ができあがるまでの間の食品の安全を確保するための基準を定め、基準通り製造されているかを確認・記録することで、食中毒や異物混入を未然に防止します。

ハーツ、ハーツ生鮮加工センター、食品加工センター、きらめきにおいてHACCPに沿った衛生手法に取り組み、衛生管理レベルの向上に取り組んでいます。

